

2020年度大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト面接（模擬授業）  
実施案内

1. 実施方法

出願した「校種・教科等」において、次の表中に示す「模擬授業の内容」を扱った授業を構想し、その授業の一部を模擬授業として行ってください。

2. 模擬授業について

- (1) 模擬授業の時間は入室から授業終了までの5分間です。模擬授業は「模擬授業の内容」に即して、事前に準備した上で行ってください。
- (2) 面接室にはホワイトボード、マーカー（黒・赤・青 各1本）が用意してあります。
- (3) 模擬授業は必ずしも授業の“導入”部分から行う必要はありません。途中の“展開”部分や“まとめ”部分から授業を始めていただいて構いません。  
⇒ 模擬授業は時間内に授業をまとめる必要はなく、授業内容の途中で終わっても構いません。  
⇒ 「模擬授業の内容」と直接関係のない“導入”部分は不要です。
- (4) 模擬授業の進行上、図や長文などホワイトボードに書くにあたって時間を要するものに関しては、ホワイトボードに書いてあるものと想定して授業を行っても構いません。
- (5) 面接員を児童生徒と想定して授業を行ってください。ただし、面接員は発言等を行ったり、反応したりしません。
- (6) 模擬授業に持ち込み可能なものは※模擬授業メモ（1枚）のみです。  
⇒ 授業を行うにあたっては、模擬授業メモを見ながら授業を行っても構いません。
- (7) 模擬授業の終了後、引き続き同じ面接室で個人面接（15分間）を行います。  
⇒ 個人面接において、模擬授業に関する質問がされる場合があります。
- (8) 模擬授業の内容の表内に示されているページは、文部科学省により発行されている学習指導要領（小学校・中学校）[平成29年3月告示]のページ数を表しています。  
WEBページ上のもではありませんので注意してください。
- (9) 模擬授業に関するご質問については、一切お受けいたしません。この実施案内をしっかりと読んで模擬授業に備えてください。

※模擬授業メモ（A4サイズの内紙に限る）

- ・ 授業案、板書や授業用のメモなど模擬授業に必要な内容を自由にお書きください。また、本や教材などをコピーしたものでも構いません。両面を使用することも可能です。
- ・ このメモは、模擬授業中に見る以外の使用は一切しないでください。  
⇒ 他の物品については一切持ち込むことはできませんので、ご注意ください。  
⇒ 模擬授業メモは評価の対象とはしません。提出は不要です。

校種・教科等	模擬授業の内容
小学校	<p>≪小学校学習指導要領 p.55 社会 [第5学年] 2 内容≫</p> <p>(5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現すること。</p>

<p>中学校・国語</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.31～p.32 国語 [第1学年] 2 内容》 [思考力, 判断力, 表現力等]</p> <p>C 読むこと</p> <p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 場面の展開や登場人物の相互関係, 心情の変化などについて, 描写を基に捉えること。 オ 文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えを確かなものにする事。 (2) (1)に示す事項については, 例えば, 次のような言語活動を通して指導するものとする。 イ 小説や随筆などを読み, 考えたことなどを記録したり伝え合ったりする活動。</p>
<p>中学校・社会</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.43～p.44 社会 [地理的分野] 2 内容》</p> <p>C 日本の様々な地域</p> <p>(2)日本の地域的特色と地域区分</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア)日本の地形や気候の特色, 海洋に囲まれた日本の国土の特色, 自然災害と防災への取組などを基に, 日本の自然環境に関する特色を理解すること。</p>
<p>中学校・数学</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.67 数学 [第1学年] 2 内容》</p> <p>C 関数</p> <p>(1) 比例, 反比例について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 関数関係の意味を理解すること。</p>
<p>中学校・理科</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.91～p.92 理科 [第2分野] 2 内容》</p> <p>(5)生命の連続性</p> <p>生命の連続性についての観察, 実験などを通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら, 次のことを理解するとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身に付けること。 (イ)遺伝の規則性と遺伝子 ⑦遺伝の規則性と遺伝子 交配実験の結果などに基づいて, 親の形質が子に伝わるときの規則性を見いだして理解すること。</p>
<p>中学校・音楽</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.100～p.101 音楽 [第1学年] 2 内容》</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1)鑑賞の活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら, 次の(ア)から(ウ)までについて自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。 (ア)曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ)生活や社会における音楽の意味や役割 (ウ)音楽表現の共通性や固有性</p> <p>[共通事項]</p> <p>(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。</p>

<p>中学校・美術</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.107～p.108 美術 [第1学年] 2 内容》  A表現  (1)表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。  イ 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  (ウ)使う目的や条件などを基に、使用する者の気持ち、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること。</p>
<p>中学校・保健体育</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.126～p.127 保健体育 [保健分野] 2 内容》  (1)健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。  ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。  (オ)感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。</p>
<p>中学校・技術</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.133 技術・家庭 [技術分野] 2 内容》  B 生物育成の技術  (3)これからの社会の発展と生物育成の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。  ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。</p>
<p>中学校・家庭</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.137～p.138 技術・家庭 [家庭分野] 2 内容》  B衣食住の生活  (1)食事の役割と中学生の栄養の特徴  イ 健康によい食習慣について考え、工夫すること。</p>
<p>中学校・英語</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.149～p.151 外国語 英語 2 内容》  [ 思考力, 判断力, 表現力等 ]  (3)言語活動及び言語の働きに関する事項  ①言語活動に関する事項  オ 話すこと[ 発表 ]  (ア)関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。   3 指導計画の作成と内容の取扱い  (1)指導計画の作成に当たっては、小学校や高等学校における指導との接続に留意しながら、次の事項に配慮するものとする。  エ 生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるようにすること。</p>